

令和6年度 決算の概要

決算規模(一般会計)

歳入は前年度比0.2%減の64,169,596千円、歳出は同0.7%減の62,799,609千円

歳入決算額 64,169,596千円

(前年度比 ▲150,553千円 ▲0.2%)

歳出決算額 62,799,609千円

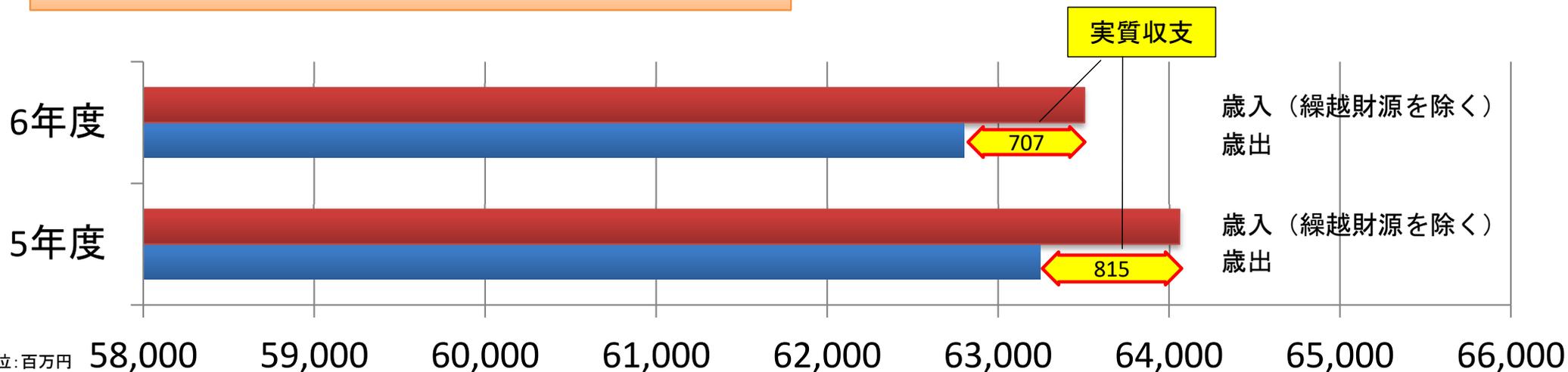
(前年度比 ▲447,601千円 ▲0.7%)

形式収支・実質収支(一般会計)

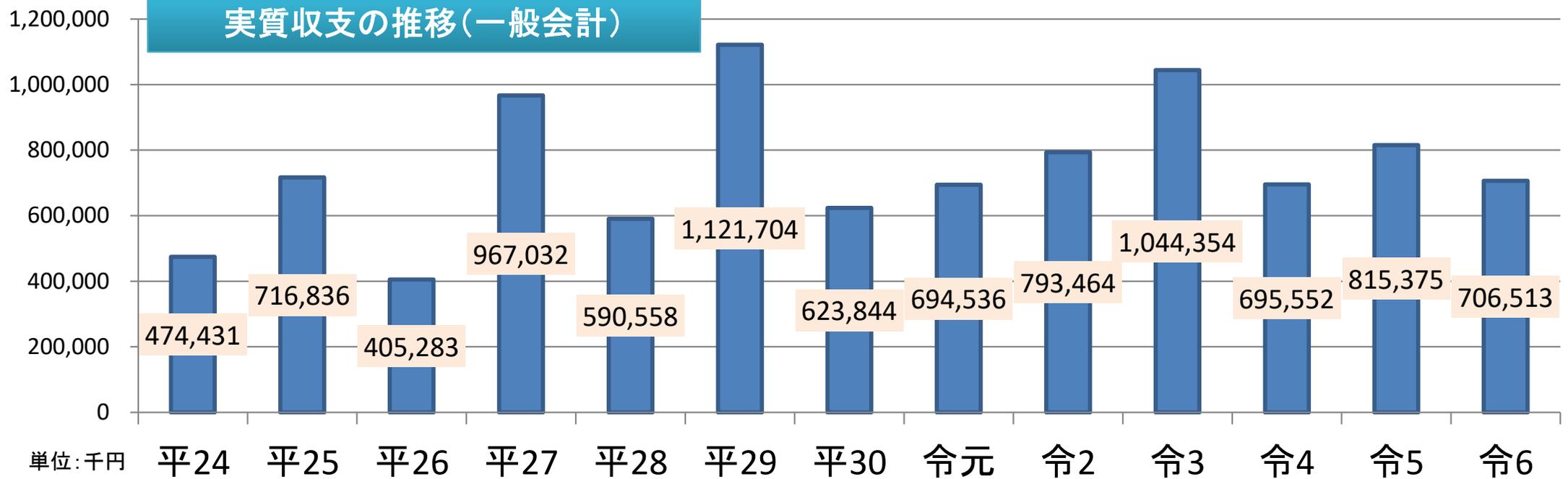
歳入から歳出を引いた形式収支は前年度比27.7%増の1,369,987千円、その形式収支から繰越事業のため翌年度に繰越すべき財源を差し引いた実質収支は同13.4%減の706,513千円

実質収支 706,513千円

(前年度比 ▲108,862千円 13.4%減)



実質収支の推移(一般会計)



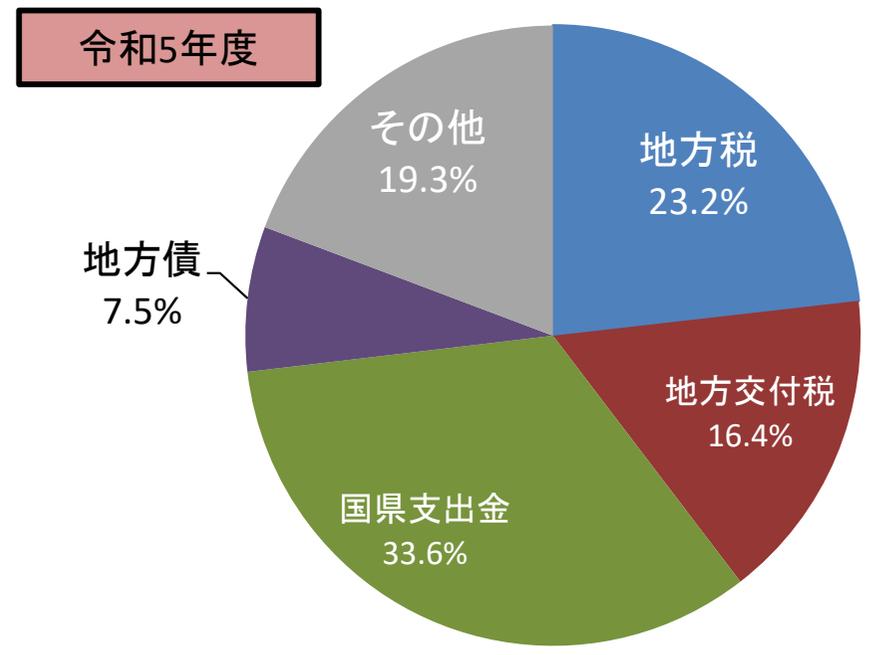
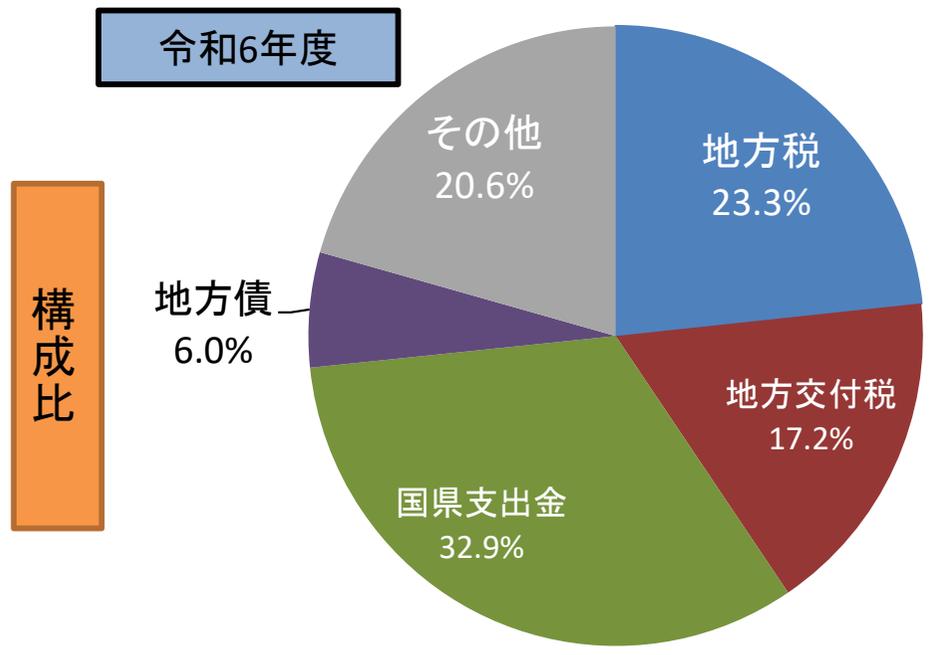
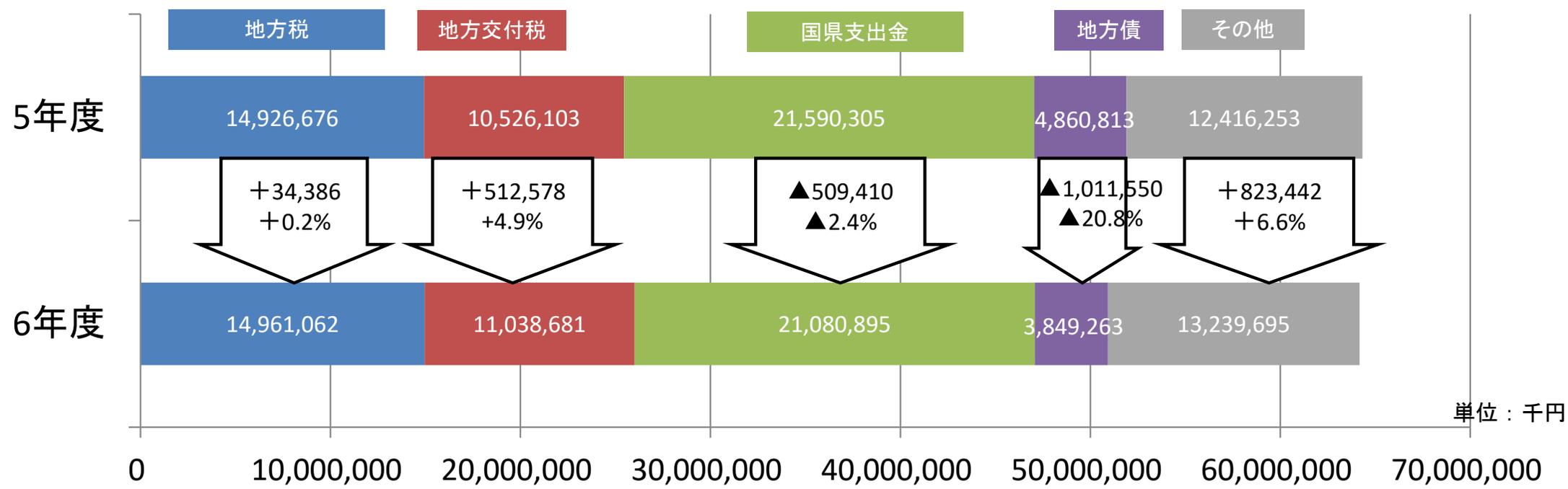
決算規模(特別会計)

特別会計の実質収支は前年度比 1,438,817千円減 (75.2%減) の 475,189千円

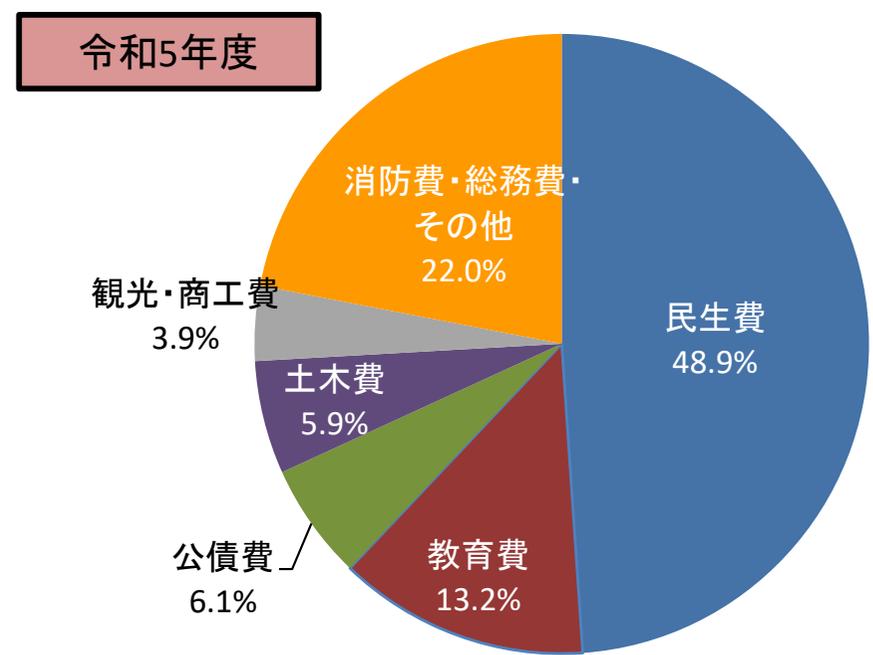
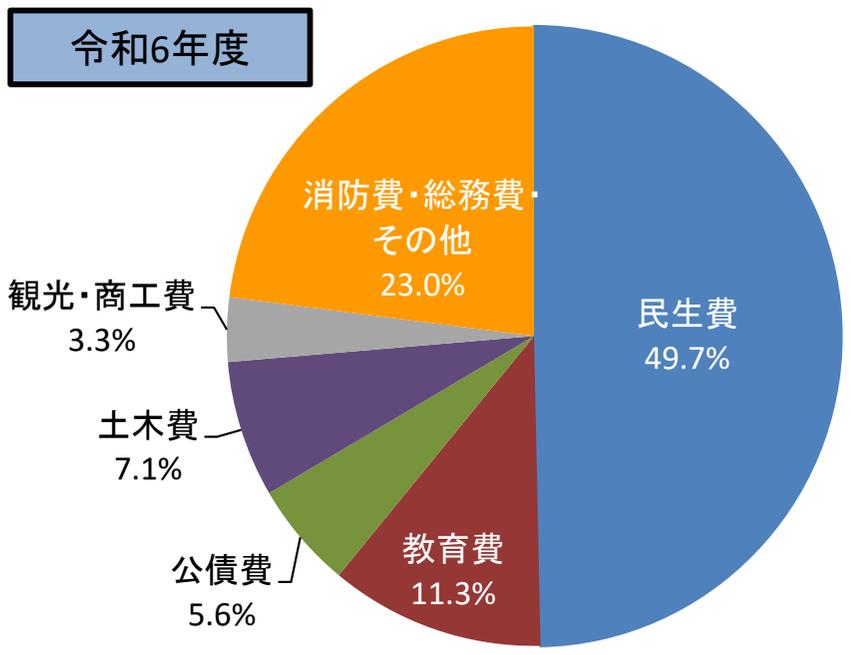
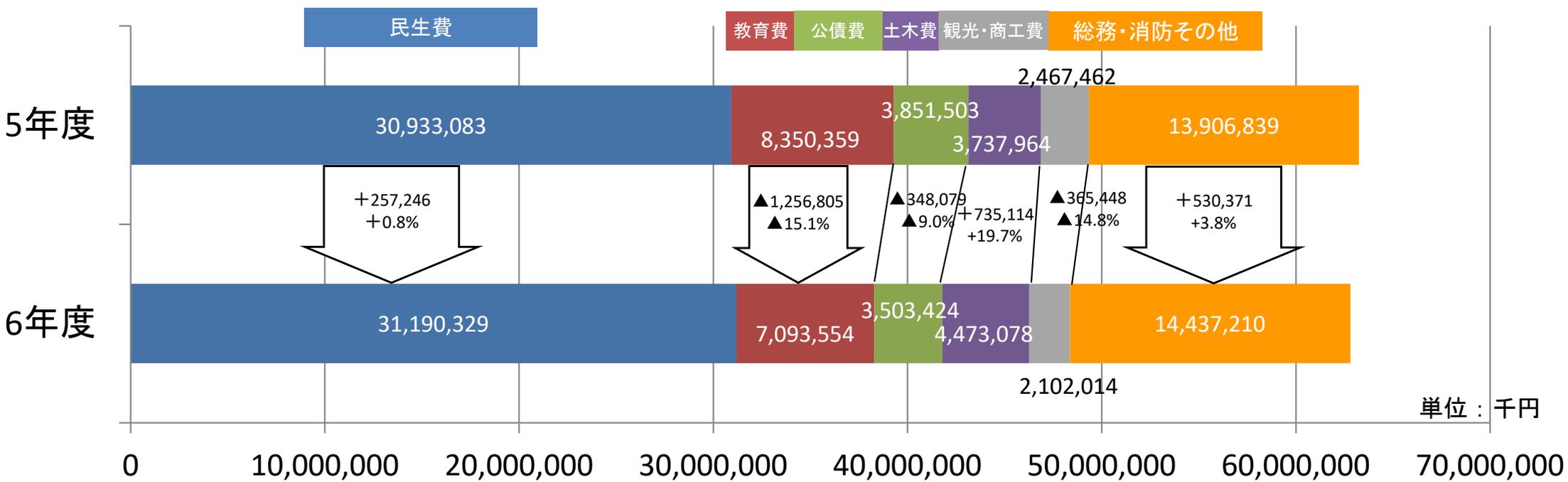
単位:千円

	歳入	歳出	歳入歳出差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支	翌年度からの繰上充用額
国民健康保険事業	12,793,643	12,696,256	97,387	0	97,387	—
公共用地先行取得事業	0	0	0	0	0	—
地方卸売市場事業	41,921	41,921	0	0	0	—
介護保険事業	14,135,989	13,767,380	368,609	0	368,609	—
後期高齢者医療	2,397,908	2,388,715	9,193	0	9,193	—
特別会計 合計	29,369,461	28,894,272	475,189	0	475,189	—

歳入の状況(一般会計)



目的別歳出の状況(一般会計)



構成比

市民一人あたりの決算額(一般会計)

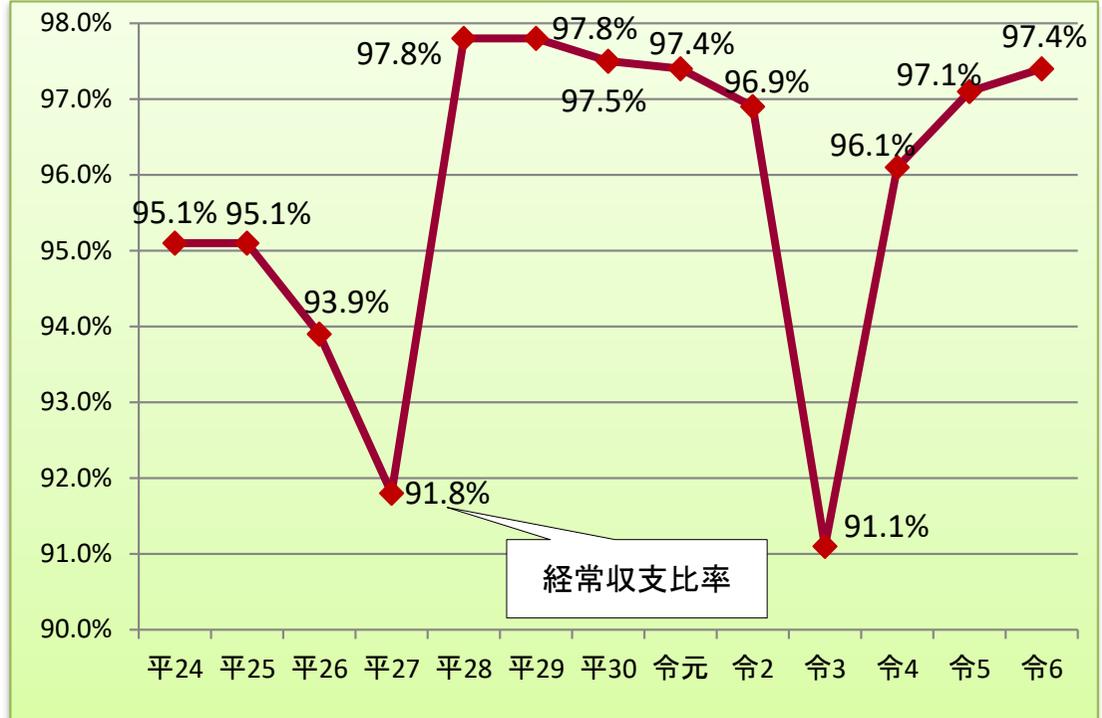
目的別	主な用途	令和6年度 (111,319人)		令和5年度 (112,010人)	
		決算額	市民一人あたり	決算額	市民一人あたり
民生費	社会保障、子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉	31,190,329千円	280,189円	30,933,083千円	276,164円
議会費・総務費	市議会・市役所の運営など	8,057,279千円	72,380円	7,660,910千円	68,395円
教育費	幼稚園・小・中・高等学校教育・社会教育・スポーツ振興など	7,093,554千円	63,723円	8,350,359千円	74,550円
土木費・災害復旧費・諸支出金	道路、街路、公園整備、海岸整備、災害復旧など	4,797,558千円	43,097円	3,876,169千円	34,606円
衛生費	健康増進、ごみ処理、環境保全など	3,751,570千円	33,701円	4,216,707千円	37,646円
公債費	市債(借金)の返済	3,503,424千円	31,472円	3,851,503千円	34,385円
商工費・観光費	商工・温泉・観光振興など	2,102,014千円	18,883円	2,467,462千円	22,029円
消防費	消防・防災対策など	1,838,469千円	16,515円	1,460,413千円	13,038円
労働費・農林水産業費	消費者・勤労者対策、農林水産業振興など	465,412千円	4,181円	430,604千円	3,844円
合 計		62,799,609千円	564,141円	63,247,210千円	564,657円

普通会計決算の主な財政指標

経常収支比率 97.4%(令5 97.1%)

経常収支比率は、地方税や普通地方交付税などの経常的な収入が、人件費や扶助費などの経常的な経費に、どの程度充てられているかを示す指標です。

令和6年度の比率は、地方譲与税・交付金等などの経常一般財源が増加しましたが、人件費、物件費などの増加により経常経費充当一般財源等の増加幅のほうが大きかったことに伴い、前年度より0.3ポイント上昇し、97.4%となりました。



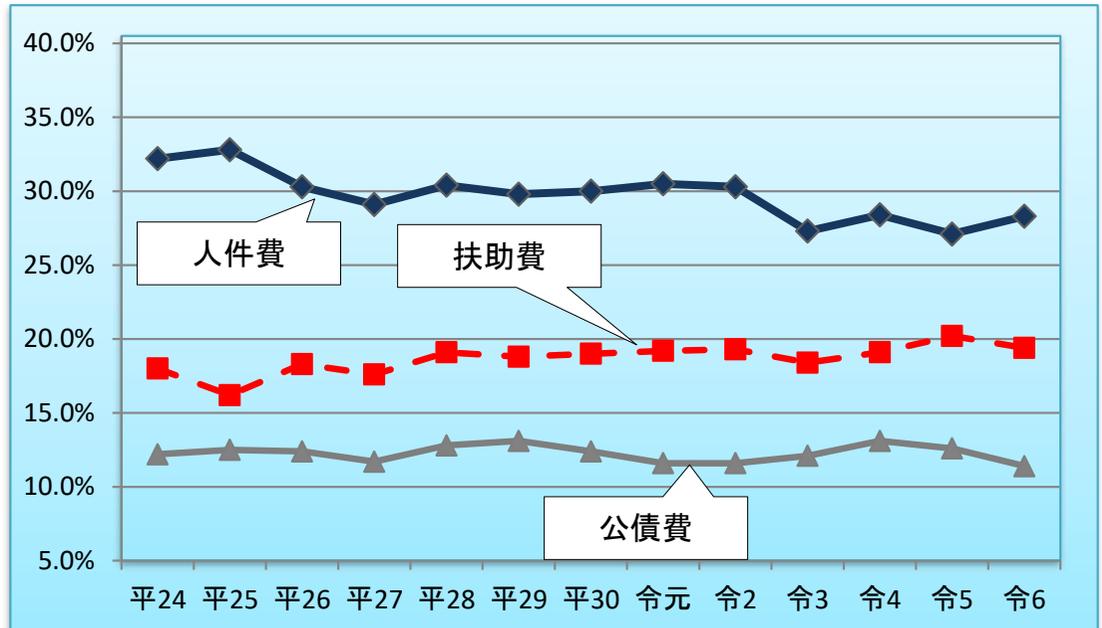
義務的経費の経常収支比率

義務的経費である人件費の経常収支比率は28.3%、扶助費は19.4%、公債費は11.4%となりました。

人件費は、職員給の増などにより1.2ポイント上昇しました。

扶助費は、生活保護費などの減少により0.8ポイント改善しました。

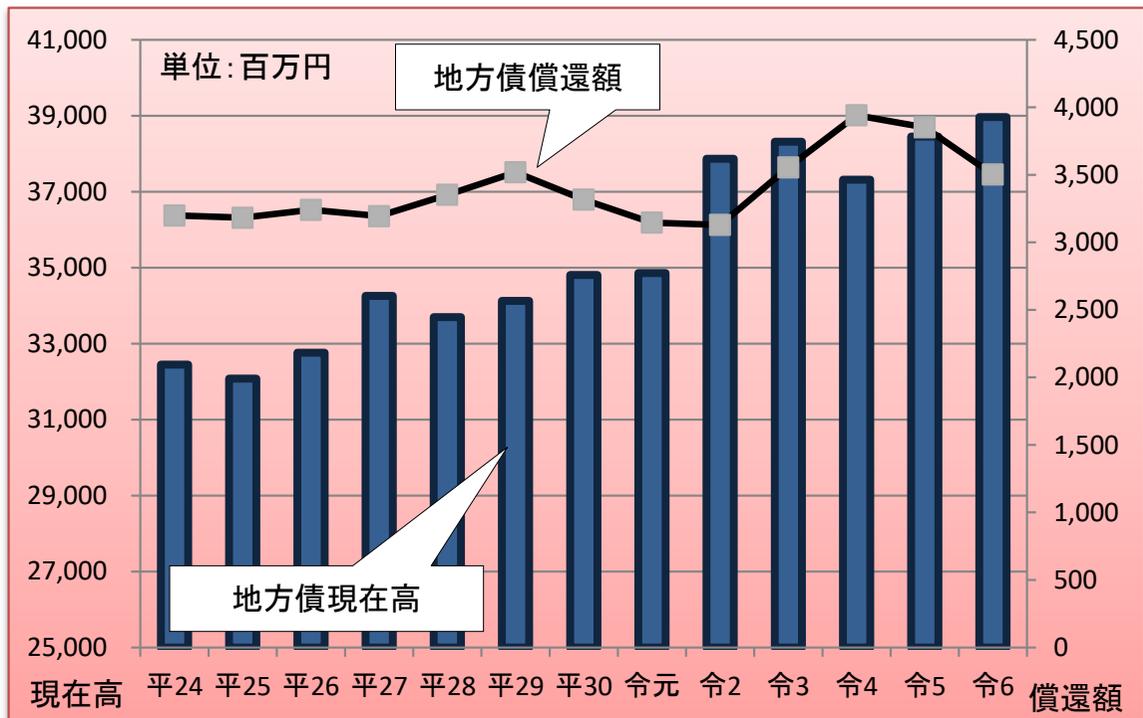
公債費は、臨時財政対策債の元利償還金の減少などにより1.2ポイント改善しました。



地方債の状況

地方債残高は、総合体育館改修事業の実施等により、借入額が償還額を上回ったことに伴い、増加(+513百万円)しました。

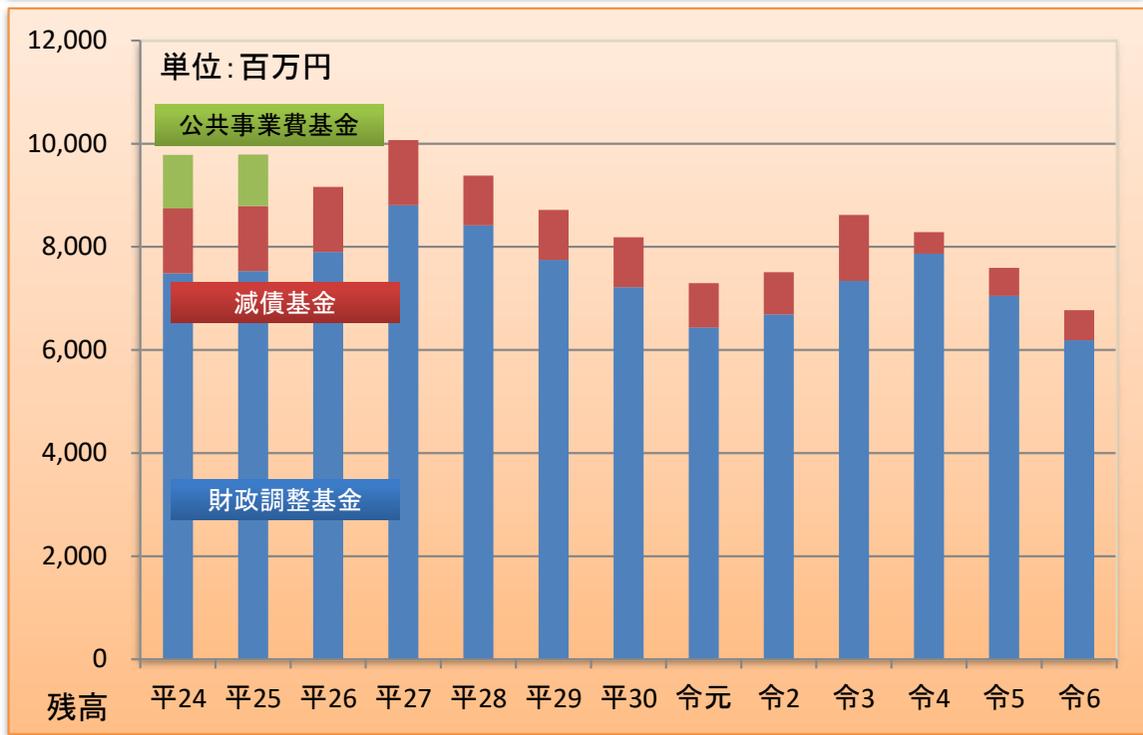
地方債残高(38,967百万円)のうち、後年度に償還が地方交付税で措置される臨時財政対策債の残高は13,983百万円で、全体の35.9%を占めています。



主要基金の状況

主要基金(財政調整基金・減債基金)は、災害等の突発的な支出や税収の減収等に備え、年度間の財源の調整を図り、計画的な財政運営を行うために積み立てています。

令和6年度末の主要基金の残高は、総合戦略の推進を図ったことなどにより、基金の取り崩しを行いましたので、前年度末から820百万円減少し、6,773百万円となりました。



市制100周年記念事業

決算額 97,994千円

別府市制100周年の歴史を振り返り、別府の魅力を再認識するとともに、国内外に情報発信し、地域の活性化につなげ、将来を担う子どもたちに継承していくため、記念式典をはじめ、様々な記念事業に市民総参加で取り組みました。



交通空白地域対策事業

決算額 47,381千円

交通空白地域における市民や観光客の移動手段確保のため、自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）制度を活用し、「湯けむりライドシェア南部循環線」及び「湯けむりライドシェア関の江循環線」を運行しました。



見守りカメラ設置事業

決算額 40,269千円

地域住民の安全安心のため、通学路、公園、公共施設等に62台の見守りカメラを設置し、犯罪の未然防止、市民の防犯への意識向上を図りました。



放課後児童クラブ施設整備事業

決算額 77,195千円

山の手小学校区の放課後児童クラブ利用者の増加に対応するため、山の手キッズ第三児童クラブを整備し、保護者が安心して子育てと仕事等を両立できる環境の充実を図りました。



子ども医療助成事業

決算額 401,036千円

令和6年4月から医療費の助成対象を、高校生等の入院、通院、歯科、調剤まで拡充し、子どもの傷病の早期治療を促進し、子育ての経済的な負担の軽減を図りました。

別府市からのお知らせ

令和6年4月1日診療分から
高校生等の医療費
(保険診療分)を助成します

新たに対象となるのは、
別府市在住の高校生等で、
(18歳に達する日以後、最初の3月31日まで)
健康保険に加入している方です。

※生活保護受給者は対象外です。

新たに助成対象となるもの	すでに助成対象となっているもの
別府市内在住の高校生等 保険診療分の通院・歯科の 医療費の一部及び入院・ 調剤に係る医療費	本府学児・別府市内在住の幼稚園児童・小学生 保険診療分の入院・通院・歯科・調剤に係る医療費 別府市内在住の幼稚園児童・小学生 保険診療分の通院・歯科の医療費の一部及び入院・調剤 に係る医療費

助成の対象にならないもの
健康診断、乳幼児健診、交通事故でのけが、
診断書などの文書料など保険適用外のもの
は対象外です。

0歳～18歳の方が
助成を受けるためには
申請が必要です。

お問い合わせ先 別府市役所 子育て支援課
給付支援係
TEL 0977-21-1427

新湯治・ウェルネス事業

決算額 24,030千円

新湯治・ウェルネスの産業化に向けて、研究・実践拠点施設の設置場所を決定し、基本計画の策定に着手するとともに、人材育成等に関する基本方針を策定しました。



消防指令業務共同運用事業 決算額 393,557千円

県下統一の通信指令システムを導入し、各消防本部の負担軽減及び情報の一元化による迅速な相互応援体制を確立しました。



小中学校学習机更新事業 決算額 112,065千円

市立小中学校の木製の机・椅子をスチール製に更新し、児童生徒の安全安心な教育環境の実現及び学習能率の向上を図りました。



別府市誌編纂事業

決算額 44,843千円

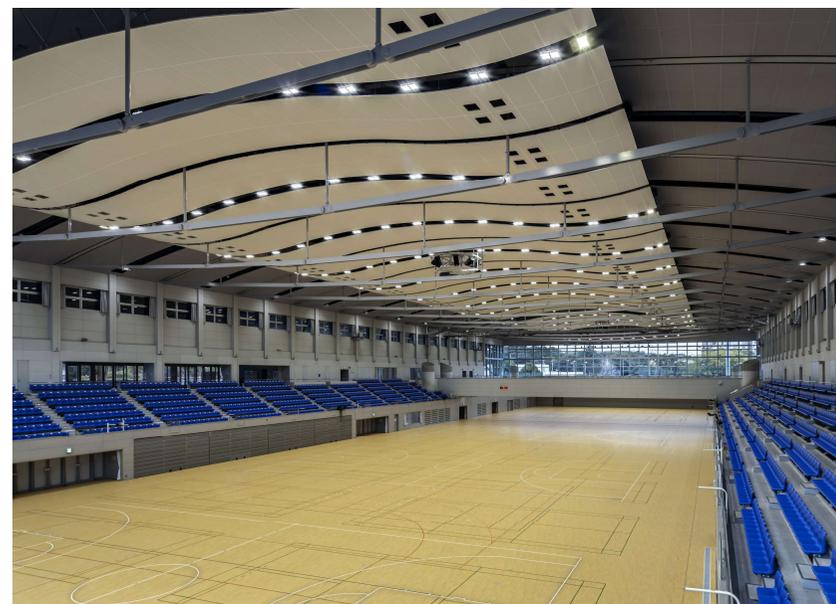
市制100周年を記念して、別府市の歴史や温泉文化の魅力について別府市誌を編纂し、「通史編」「図鑑編」を発刊しました。



総合体育館改修事業

決算額 1,225,804千円

平成15年度開設から20年以上が経過した別府市総合体育館について、令和5年度から2か年で天井及び床の全面改修、照明器具のLED化などの大規模改修を実施し、利用者の方の安全性と利便性の向上に努めました。



その他の主な支出

生活保護費 決算額 6,321,245千円

自立支援給付費 決算額 5,174,210千円

保育園（私立）運営費負担金 決算額 3,788,684千円

介護保険事業特別会計繰出金 決算額 2,176,838千円

後期高齢者医療療養給付費負担金 決算額 2,017,136千円

住民税非課税世帯等生活支援特別給付金 決算額 1,953,560千円

児童手当 決算額 1,530,450千円

障害児通所支援給付費 決算額 1,194,379千円

保険基盤安定繰出金（国保特会） 決算額 765,700千円

児童扶養手当 決算額 596,822千円

図書館等一体的整備事業 決算額 852,765千円

広域圏事務組合負担金（藤ヶ谷） 決算額 743,053千円

小中学校等体育館空調整備事業 決算額 539,110千円

地方道路整備（交付金事業）事業 決算額 394,931千円

浜脇秋葉線道路整備事業 決算額 275,137千円

大規模建築物耐震診断・耐震改修等事業 決算額 201,929千円

山田関の江線外道路整備事業 決算額 166,175千円

保健センター整備事業 決算額 128,515千円

橋りょう長寿命化事業 決算額 124,851千円

市民ホール整備事業 決算額 107,764千円

充当明細表

令和6年度 都市計画税充当明細表

充 当 先		[単位：千円]
		金 額
1 衛 生 費		372,850
	広域行政事業	370,230
	水道事業繰出金	2,620
2 土 木 費		405,630
	都市公園整備事業	157,712
	公共下水道事業会計繰出金	160,747
	水路整備事業	30,728
	街路整備事業	47,321
	その他	9,122
3 消 防 費		13,824
	消防水利整備事業	13,824
4 公 債 費		335,133
	長期償還元金	319,555
	長期償還利子	15,578
合 計		1,127,437

令和6年度 入湯税充当明細表

充 当 先		[単位：千円]
		金 額
1 衛 生 費		19,855
	塵芥処理費	17,621
	し尿処理費	2,234
2 観 光 費		467,747
	別府市観光みらい創造基金積立金 (入湯税超過課税分)	211,418
	観光客誘致事業	56,646
	観光施設費	94,367
	温泉施設費	105,316
3 消 防 費		65,598
	消防施設費	65,598
合 計		553,200

令和6年度 競輪事業収入充当明細表

充 当 先		[単位：千円]
		金 額
1 総 務 費		430,000
	べっぴん未来共創基金積立金	200,000
	財政調整基金積立金※	230,000
2 民 生 費		20,000
	在宅支援事業	16,000
	保育所入所事業	4,000
3 衛 生 費		90,000
	予防費	90,000
4 教 育 費		90,000
	教育指導費	30,000
	文化振興費	4,000
	体育施設費	40,000
	体育振興費	16,000
合 計		630,000

※令和7年度の給食費保護者負担軽減事業の財源として積立て

令和6年度 地方消費税交付金（社会保障財源分）充当明細表

充 当 先		[単位：千円]
		金 額
1 民 生 費		1,513,000
	自立支援給付事業	373,000
	介護保険事業特別会計繰出金	481,000
	後期高齢者医療事業	290,000
	保育所入所事業	369,000
2 衛 生 費		184,358
	予防接種事業	83,358
	子ども医療助成事業	10,000
	母子健康診査事業	40,000
	健康診査事業	51,000
合 計		1,697,358

令和6年度 別府市観光みらい創造基金繰入金
(入湯税超過課税分使途)

使 途	[単位：千円]
	金 額
①温泉資源の保護、確保	39,506
②観光客の快適性確保（ストレスフリー）	14,194
③観光客の安全・安心の確保	20,771
④観光客を増加させるための事業推進 (魅力あふれる温泉地づくり)	67,867
⑤観光客の受入体制の充実	6,545
合 計	148,883